

水防災に関するお役立ち情報

烏川
↓

令和元年台風第19号通過後 10月13日12時頃撮影

「烏・神流川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」では、**今後起こりうる大規模水害**の被害を防ぐため、さまざまな取組を行っています。

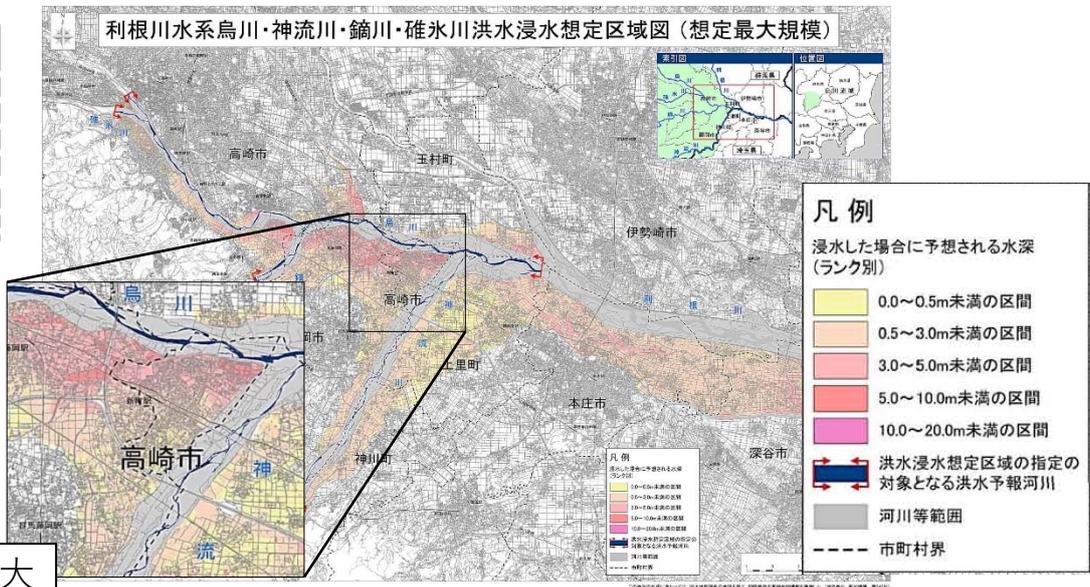
その取組の一環として、皆様の自助、共助に役立つ情報をとりまとめましたので紹介します。

- | | |
|-----------------------------|-----|
| ★1 「洪水浸水想定区域図」とは？ | P 2 |
| ★2 「洪水ハザードマップ」とは？ | P 2 |
| ★3 「家屋倒壊等氾濫想定区域」とは？ | P 3 |
| ★4 「まるごとまちごとハザードマップ」とは？ | P 3 |
| ★5 「地点別浸水シミュレーション（浸水ナビ）」とは？ | P 4 |
| ★6 過去の水害経験（烏川・神流川流域） | P 5 |
| ★7 近年の水害経験（烏川・神流川流域） | P 6 |
| ★8 「防災情報」の入手方法について | P 7 |
| ★9 データ放送による河川情報の入手について | P 8 |
| ★10 「CCTVカメラ映像」について | P 8 |
| ★11 「川の水位」と「警戒レベル」について | P 9 |
| ★12 水害リスクラインについて | P10 |
| ★13 「雨雲の動き・今後の雨」について | P10 |
| ★14 「早期注意情報（警報級の可能性）」について | P11 |
| ★15 「台風情報」について | P11 |
| ★16 「洪水警報の危険度分布（キキクル）」について | P12 |
| ★17 リスクに応じた避難方法について | P12 |
| ★18 「水防災意識社会再構築ビジョン」とは？ | P13 |
| ★19 「タイムライン」「マイ・タイムライン」とは？ | P14 |

★1 「洪水浸水想定区域図」とは？

「洪水浸水想定区域図」とは、水災による被害の軽減を図るため、河川が氾濫した場合に**浸水**が想定される区域と氾濫したときの**水深**を表示するものです。

(参照URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/shinsuisouteikuiki.html>)



拡大

★2 「洪水ハザードマップ」とは？

洪水浸水想定区域★1をその区域に含む市町村の長は、洪水浸水想定区域図に洪水予報等の伝達方法、避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項等を記載した**洪水ハザードマップ**を作成し、印刷物の配布やインターネット等により、**住民の方々に周知**することとなっています。

みなさんのお住まいの地域のハザードマップは、以下の**ハザードマップポータルサイト**で確認することもできます。(参照URL <https://disaportal.gsi.go.jp/>) (スマートフォンにも対応)



ハザードマップポータルサイト
～身のまわりの災害リスクを調べる～

[使い方](#) [利用規約](#) [問い合わせ](#) [関連情報](#)

重ねるハザードマップ
～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

わがまちハザードマップ
～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップをリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

地図で選ぶ

場所を入力

例: 茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

表示する情報を選ぶ


洪水(想定最大規模)
洪水(計画規模)はこちら


土砂災害


津波


道路防災情報

※掲載データに関する留意事項



〇〇市洪水ハザードマップ「〇〇版」

「出典：ハザードマップポータルサイト」

この「ハザードマップポータルサイト」では、洪水に限らず、「内水」や「火山」、「土砂災害」など、様々な災害リスクを重ねて表示させることができます。

お住まい周辺のリスクや避難先、避難経路など、事前に知っておきたい情報を**ぜひチェック**しておいてください！

★3 「家屋倒壊等氾濫想定区域」とは？

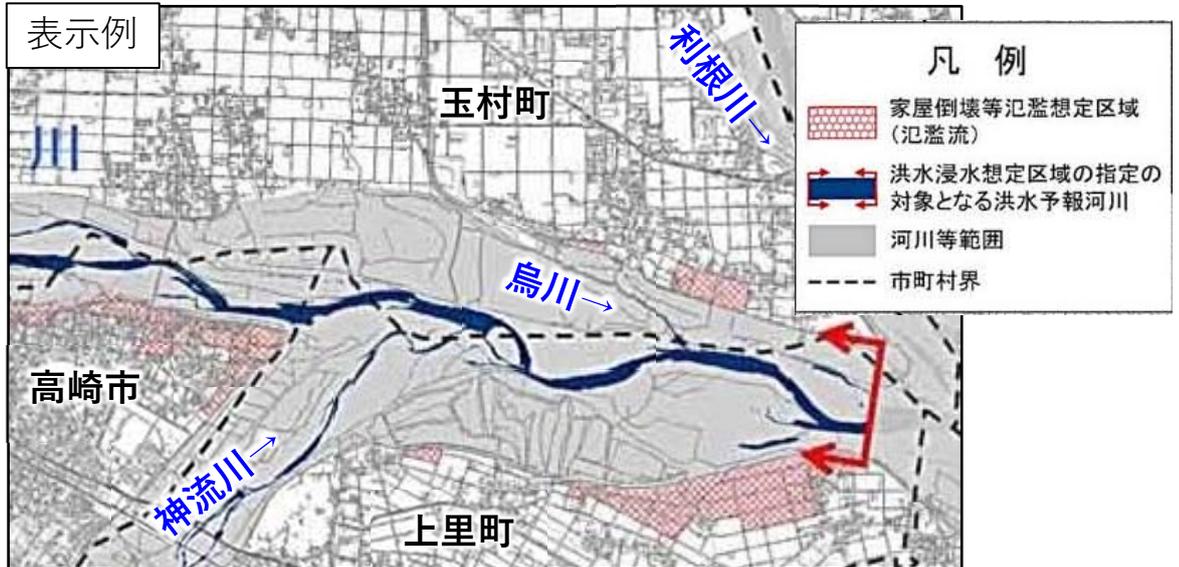
「**家屋倒壊等氾濫想定区域**」とは、家屋の倒壊・流出をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域です。

(参照URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/shinsuisouteikuiki.html>)

「家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流による家屋倒壊）」



: この場所では、氾濫流により家屋が倒壊する恐れがあります。
**安全な場所へ
早めの避難**を心がけてください！



★4 「まるごとまちごとハザードマップ」とは？

自らが生活する地域の水害の危険性を実感できるよう、居住地域を**まるごとハザードマップ**と見立て、生活空間である**“まちなか”**に水防災にかかわる以下の**情報を標示**する取組です。

- ・洪水・内水・高潮の浸水深に関する情報
- ・避難行動に関する情報（避難所及び避難誘導に関する情報）

(参照URL <https://www.mlit.go.jp/river/bo-usai/main/marumachi/>)

●洪水・内水・高潮の浸水深に関する情報例



●避難行動に関する情報例(避難所及び避難誘導に関する情報)



「まるごとまちごとハザードマップ」の目的や、全国における取組状況・取組事例、またその効果など、上記国土交通省HPで詳しく紹介しています。
ぜひご覧下さい。

★5 「地点別浸水シミュレーション（浸水ナビ）」とは？

国土交通省が提供する「**地点別浸水シミュレーション検索システム**」（**浸水ナビ**）を使うことで、堤防が決壊（破堤）した場合、**あなたの家がどのくらい浸水するのか**、決壊から何時間で浸水が始まるのか、何日で水が引くのか、などを**イメージ**することができます。

また、河川が危険な水位に達していないか、など情報収集にも利用できます。

(参照URL <https://suiboumap.gsi.go.jp/>)

想定破堤点を知る

どの河川のどこの地点が決壊（破堤）したら、自宅や会社などが浸水するのかがわかります。

浸水想定を知る

堤防決壊（破堤）後、**どこが・いつ・どのくらい浸水するか**、の変化をアニメーションやグラフで見ることができます。

河川の水位情報を知る

大雨の際に、どこの水位観測所の情報を見ておけば良いのかがわかります。また、現在の水位がわかるホームページへもリンクしています。



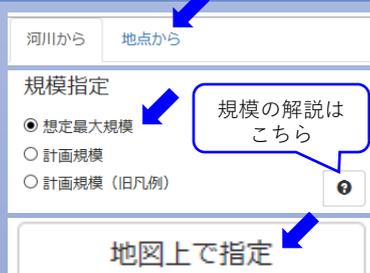
使い方の一例（浸水想定を知る）

（堤防決壊（破堤）後、どこが・いつ・どのくらい浸水するか、の変化をアニメーションやグラフで見する方法）

- ①地点別浸水シミュレーション検索システムへアクセス（「浸水ナビ」検索で簡単に検索）
- ②「地点別浸水シミュレーション検索システムを見る」をクリック



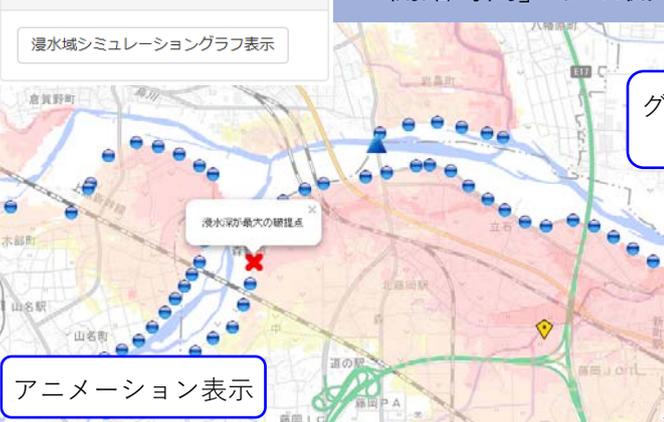
- ③画面左上の「地点から」をクリック
- ④表示された「規模指定」でシミュレーションに用いる降雨量規模をクリック
- ⑤「地図上で指定」をクリック後、情報を知りたい場所をクリック



- ⑥最大浸水をもたらす想定破堤点が赤丸●で示されます。
- ⑦赤丸をクリックすると、その想定破堤点が決壊したときの浸水想定区域が表示されます。



- ⑧表示された浸水想定区域は、「アニメーション表示」により、浸水の広がり方や水の引き方をアニメーションで見ることが出来ます
- ⑨「浸水域シミュレーショングラフ表示」では、指定した場所の「浸水開始時間」や「最大浸水深」など、様々な情報を見ることが出来ます。



★6 過去の水害経験（烏川・神流川流域）

烏川・神流川流域における過去の主な水害経験としては、以下が挙げられます。

昭和10年9月洪水（台風）

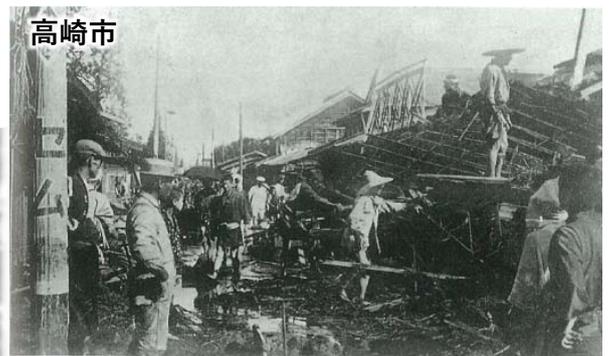
昭和10年（1935年）9月24日、九州宮崎付近にあった台風が突然北東に進路を変え、台風と副低気圧による前線が上信地方に豪雨をもたらしました。

9月24・25日の2日間の降水量は三ノ倉（旧倉渚村）で402.5mm、安中で314.3mmに達し、豪雨は10時間余りも続き、烏川の上流域と碓氷川支流の九十九川流域で山津波（土石流）が発生。

当時の群馬郡で40人、碓氷郡で83人も死者が出るという惨事となりました。



高崎市聖石町付近



高崎市



高崎市聖石橋から石原町方面

昭和22年9月洪水（カスリーン台風）

昭和22年9月の**カスリーン台風**は、15日に駿河湾の南方沖を通過、さらに房総半島の南部を横切りました。台風が接近する以前に、本州には**停滞した前線**が13日から大雨をもたらしており、台風の影響と重なり、特に南東に面した山岳斜面では300mmから500mmにもおよぶ降雨を記録しました。この大雨により利根川は増水、現在の加須市において**堤防が決壊**し、その濁流は3日かけて東京湾にまで達しました。

結果、死者・行方不明者1,100名（群馬県内においては699名）、浸水家屋約30万戸という**甚大な被害が発生**しました。

流量	17,000m ³ /s (八斗島)
死者・行方不明者	1,100名
浸水家屋	約30万戸



カスリーン台風（昭和22年9月）

浸水した葛飾区の様子

上表は、平成17年12月19日 第30回河川整備基本方針検討小委員会資料「参考資料6 利根川水系の治水に関する特徴と課題」より

★7 近年の水害経験（烏川・神流川流域）

烏川・神流川流域における**近年の主な水害経験**としては、以下が挙げられます。

平成19年9月台風第9号

下久保雨量観測所（埼玉県児玉郡神川町地先）で時間最大降水量63mm、総降水量543mmが観測される記録的な大雨となり、高崎市阿久津町地先で、およそ8haに及ぶ浸水被害が発生しました。



高崎市阿久津町地先

平成25年9月台風第18号

台風第18号は埼玉県北部から群馬県南東部を通過し、増水した烏川では佐野橋が流出しました。

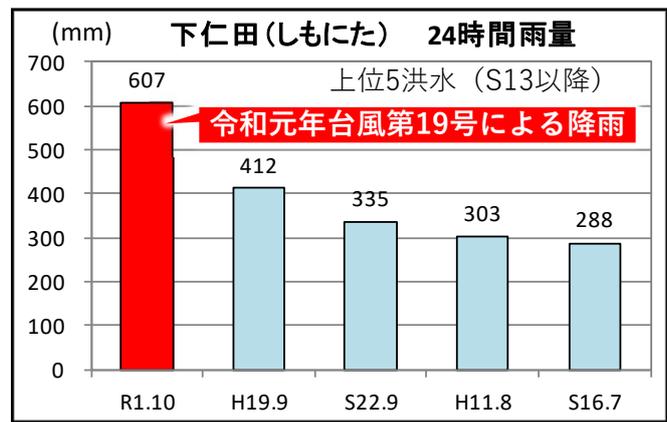
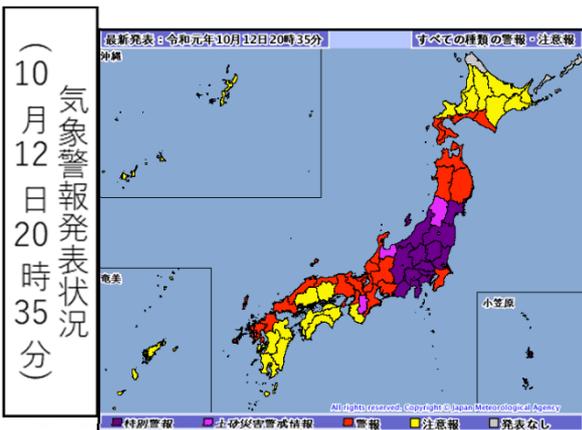


流出した佐野橋

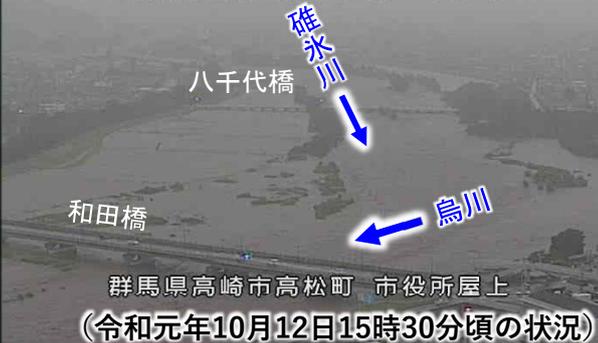
令和元年10月台風第19号

令和元年10月12日（土）、台風第19号は伊豆半島に上陸し、関東甲信地方と東北地方を通過。東日本から東北地方の広い範囲で大雨や暴風をもたらし、下仁田雨量観測所（群馬県甘楽郡下仁田町地先）における24時間降水量が**既往最大の607mmを記録**するなど、多くの地点で**記録的な大雨**となり、**13都県で大雨特別警報が発表**されるに至りました。この影響で河川の氾濫が相次ぐなど、大きな被害が発生しました。

烏川・神流川流域においては、堤防決壊こそなかったものの、**多くの河川管理施設等が破損・流出するなど被害**を受けました。



烏川・碓氷川の増水の様子
利根川水系 烏川 左岸 17.0kp

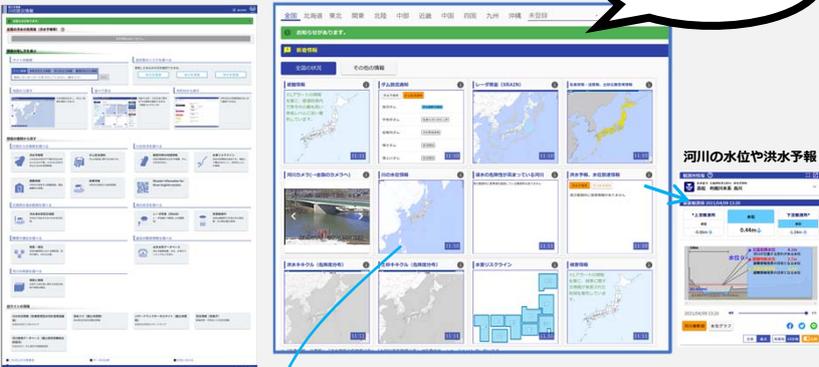
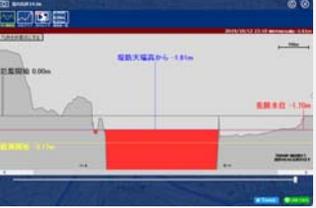


碓氷川の
利根川水系 碓氷川 左岸 3.0kp
増水の様子



★8 「防災情報」の入手方法について

近年、大規模な水害が日本中で多発していることを受け、様々な**防災情報**が公開されています。ここでは、**河川の氾濫から命をまもる**ために、ぜひ入手して頂きたい情報について紹介します。

情報	名称・情報入手イメージ	解説
川の水位	川の防災情報 国土交通省「川の防災情報」(ポータルサイト)  <p>川の防災情報にアクセスしてみましょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶インターネットを通じてパソコン、スマートフォンなどでご覧頂けます。 ▶川の水位を始め、雨量、カメラ画像、ダムの情報など入手可能です。居住の市町等を登録することができます。 
	川の水位情報  <p>危険管理型水位計 高崎河川国道事務所管内 平成28～30年度に 計11箇所 設置済</p>  <p>▲令和元年10月台風第19号時の一部観測所表示例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶インターネットを通じてパソコン、スマートフォンなどでご覧頂けます。 ▶河川の増水時、堤防天端からのどのくらいの位置に水面があるのか知ることが出来ます。 
洪水予報	指定河川洪水予報  <p>気象庁HP</p> <p>テレビテロップ(イメージ)  烏川流域に氾濫警戒情報発表中</p> <p>その他 ▶テレビのデータ放送(★9) ▶自治体の防災メール など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶インターネットを通じてパソコン、スマートフォン、テレビなどでご覧頂けます。 ▶河川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や住民の皆さんの避難行動の参考となる情報です。 ▶氾濫警戒情報が出たら高齢者等避難、氾濫危険情報が出たら、全員避難が原則です。
避難情報	 <p>役場の広報車</p>  <p>区長や消防団</p>  <p>ホームページ</p>  <p>ラジオ</p>  <p>テレビのデータ放送</p>  <p>防災メール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶災害対策基本法に基づき、各市町村長が発令します。避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)、災害発生情報の4種類があります。 ▶避難準備・高齢者等避難開始が出たら高齢者等避難、避難勧告が出たら、全員避難が原則です。

注) この頁に記載の情報は、令和2年2月6日時点のものです。内容等詳細については更新される場合がございますので、最新の情報をご確認下さい。

★9 データ放送による河川情報の入手について

国土交通省では、これまでも「川の防災情報」などのインターネットや携帯電話を活用した河川情報の提供を行ってまいりました。

より身近に河川情報を入手し、適切な避難行動に役立ててもらうために、国土交通省では放送局向けの情報配信システムの整備を行い、放送局等と協力して**地上デジタルテレビのデータ放送**による**河川情報の提供**を進めています。ぜひご活用下さい。

NHKによる提供画面の操作例（河川水位情報）

操作①

TVのリモコンの「dボタン」を押して、TOPメニューの「地域の防災・生活情報」を選択



地域の防災・生活情報を選ぶ

操作②

河川水位情報を選ぶ

放送画面

首都圏における配信画面



放送画面

地方局における配信画面



放送画面

★10 「CCTVカメラ映像」について

国土交通省では、管理する河川を**常設ライブカメラ**により監視しています。

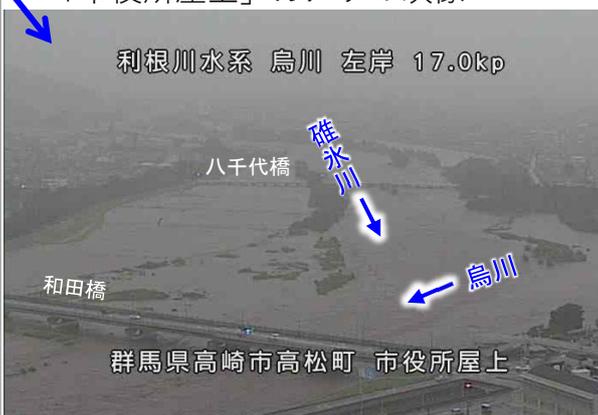
これらは高崎河川国道事務所HP（下記例：高崎河川国道事務所ホーム > リアルタイム情報 > ライブカメラ映像（河川））や「気象×水害・土砂災害」情報マルチモニタ、「川の防災情報」、「川の水位情報」など各インターネットサイトを通じて、**皆様にも公開**しています。

早めの避難判断にぜひご活用下さい。

（参照URL https://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/takasaki_index020.html）



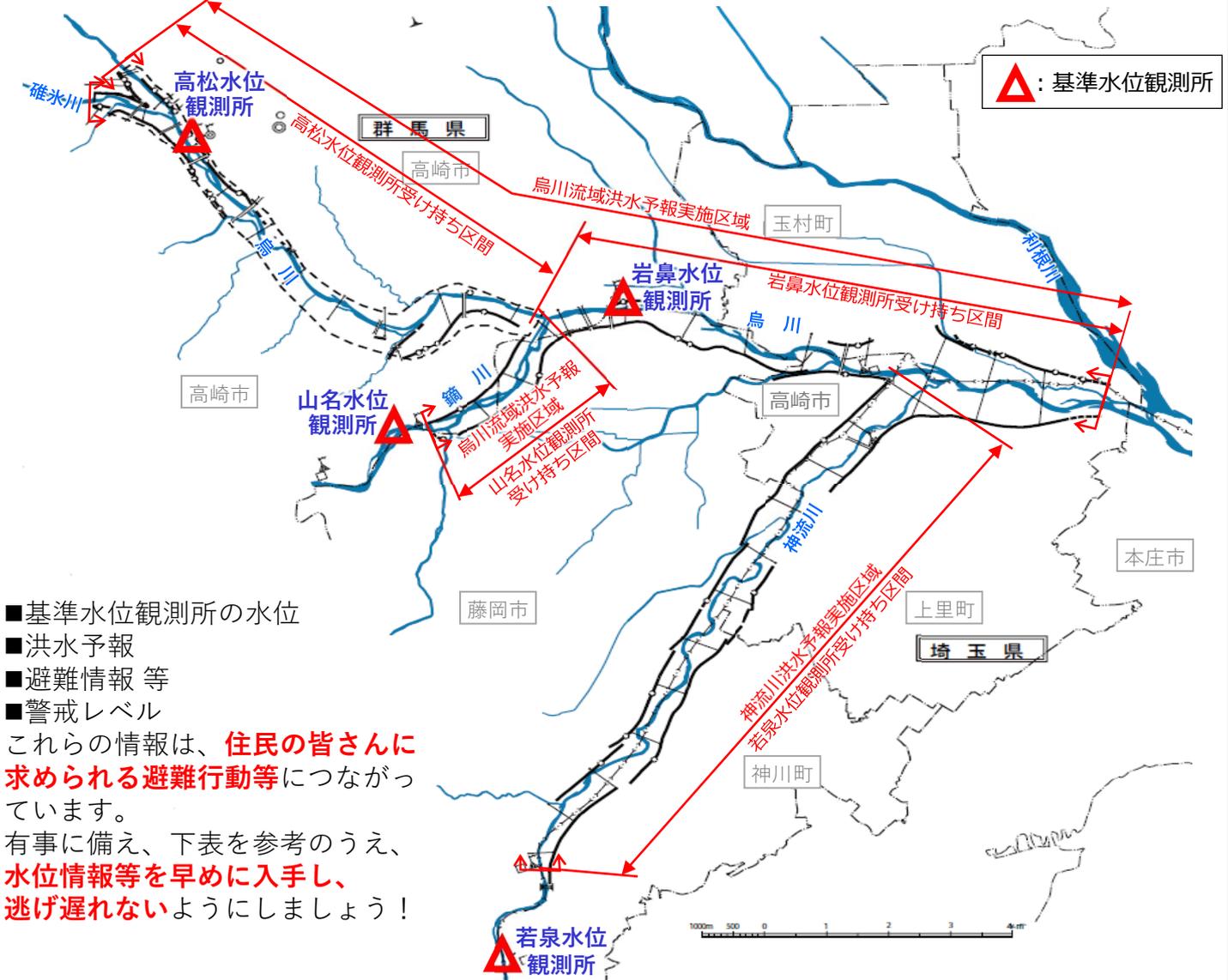
▼台風第19号襲来時
令和元年10月12日15時30分頃の
烏川と碓氷川合流点付近の状況
「市役所屋上」カメラの映像



（工事の関係で一時的に停止する場合があります）

★11 「川の水位」と「警戒レベル」について

国土交通省 高崎河川国道事務所が管理する烏川・神流川（）には、河川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や住民の皆さんの**避難行動**の参考となるように、国土交通省と気象庁が共同で発表する『**洪水予報**』の発表基準となる水位観測所が、**4箇所設置**されています。



■基準水位観測所の水位
 ■洪水予報
 ■避難情報等
 ■警戒レベル
 これらの情報は、**住民の皆さんに求められる避難行動等**につながっています。
 有事に備え、下表を参考のうえ、**水位情報等を早めに入手し、逃げ遅れない**ようにしましょう！

基準水位 (川の状況)	洪水予報 (烏川流域洪水予報 又は 神流川洪水予報)	避難情報等	皆さんに求められる 避難行動等	警戒レベル
(越水・溢水 等が発生)	氾濫発生情報	緊急安全確保 (市町村長が発令)	災害発生又は切迫（必ず発令される情報 ではない） 命の危険 直ちに安全確保！	警戒レベル 5

～～～警戒レベル4までに必ず避難！～～～

氾濫危険水位 高松4.10m 山名6.20m 岩鼻4.60m 若泉7.00m	氾濫危険情報	避難指示 (市町村長が発令)	危険な場所から全員避難 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	警戒レベル 4 全員避難
避難判断水位 高松3.70m 山名6.00m 岩鼻4.10m 若泉6.70m	氾濫警戒情報	高齢者等避難 (市町村長が発令)	避難に時間を要する人（ご高齢の方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。 その他の人は、外出を控えたり、避難の準備を整えましょう。	警戒レベル 3 高齢者等は避難
氾濫注意水位 高松3.60m 山名2.60m 岩鼻3.30m 若泉3.00m	氾濫注意情報	大雨注意報 洪水注意報等 (気象庁が発表)	避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認 しましょう。	警戒レベル 2
基準水位は、WEB「川の防災情報」やテレビの「データ放送」でご確認いただけます		早期注意情報 (気象庁が発表)	災害への心構えを高めましょう。	警戒レベル 1

注) 上表はそれぞれの情報の標準的な関係性を示したものです。9.避難情報の発令に関する詳細については、お住まいの市町村にお問い合わせ下さい。

★12 水害リスクラインについて

国土交通省では、災害の切迫感を分かりやすく伝える取組みの一つとして、上流から下流まで連続的に洪水の危険度が分かる「**水害リスクライン**」による水位情報の提供を開始しました。

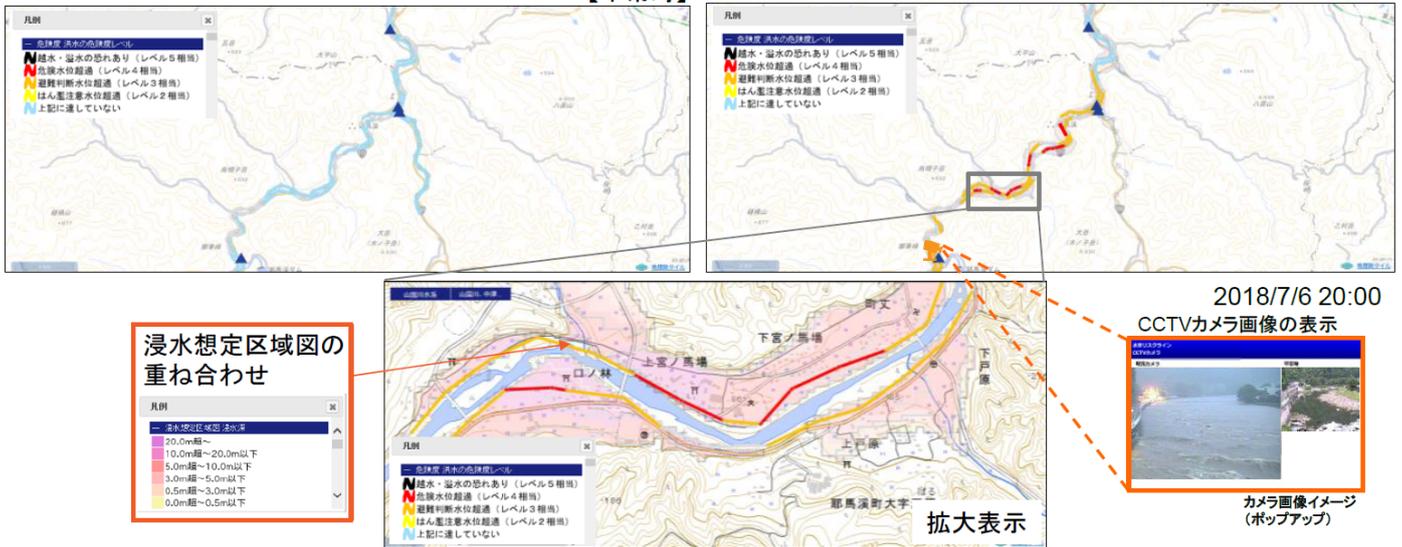
「水害リスクライン」は、河川の延長方向概ね200m毎の水位の計算結果と堤防高との比較により、左右岸別に上流から下流まで**連続的に洪水の危険度を表示**することが可能となるシステムです。**早めの避難判断**にぜひご活用下さい。



(参照URL <https://frl.river.go.jp/>)

【平常時】

【平成30年7月豪雨時(再現)】



★13 「雨雲の動き・今後の雨」について

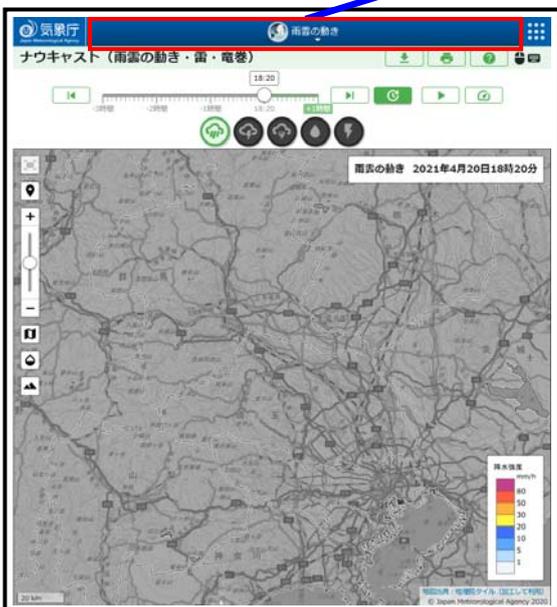
「**雨雲の動き**」は、気象レーダーの観測データを利用して、5分毎の降水強度分布を表示します。また、黄色(右側)の時間帯には、5分毎の60分先までの降水強度分布の予測を表示します。

(参照URL <https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>)



1時間よりも先の降水予報をご覧になりたい場合は、「**今後の雨**」をご覧ください。

「今後の雨」



★14 「早期注意情報（警報級の可能性）」について

大雨や暴風などの警報級の現象が5日先までに予想されるときには、その可能性を「早期注意情報（警報級の可能性）」として〔高〕、〔中〕の2段階で発表しています。

(参照URL https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area_type=offices&area_code=100000&lang=ja)

※上記URLのサイトは、2021年3月にリニューアルされているもので、レイアウト・凡例等が以下の表示と異なる場合があります。



令和元年台風第19号の表示例

前橋地方气象台発表

群馬県南部の早期注意情報(警報級の可能性)

南部では、13日までの期間内に、大雨、暴風(暴風雪)警報を発表する可能性が高い。

種別	警報級の可能性							
	12日		13日		14日	15日	16日	17日
	夕方まで 12-18	夜~明け方 18-6	朝~夜遅く 6-24					
大雨	[高]	[高]	[中]		-	-	-	-
大雪	-	-	-		-	-	-	-
暴風(暴風雪)	-	[高]	-		-	-	-	-

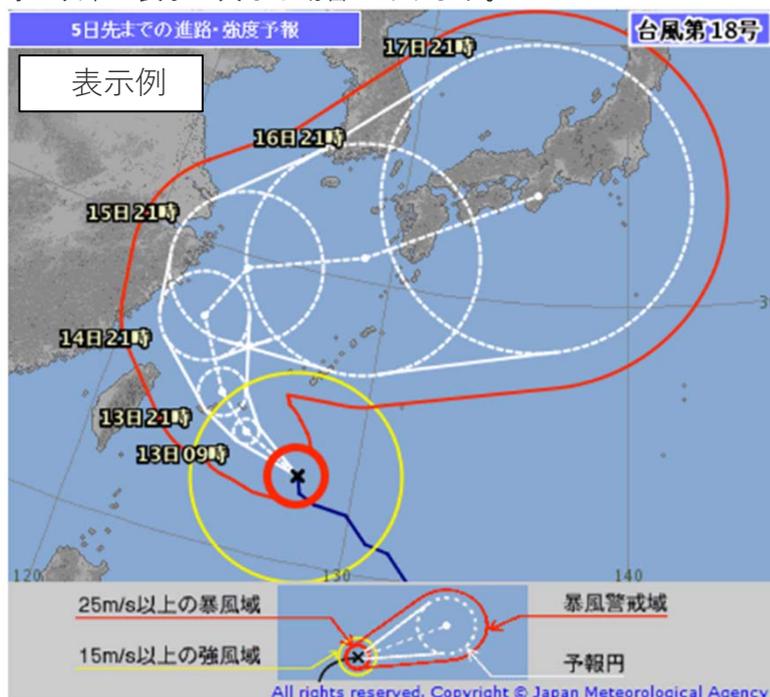
- [高] : 警報を発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が〔高〕とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を気象警報・注意報で確認してください。
- [中] : [高]ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までの警報級の可能性が〔中〕とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。

★15 「台風情報」について

台風情報で、台風の実況と5日先までの予報を提供しています。

(参照URL <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

※上記URLのサイトは、2021年3月にリニューアルされているもので、レイアウト・凡例等が以下の表示と異なる場合があります。



台風の実況

台風の実況を3時間ごとに発表しています。台風の実況の内容は、台風の中心位置、進行方向と速度、中心気圧、最大風速（10分間平均）、最大瞬間風速、暴風域、強風域です。

台風の子報

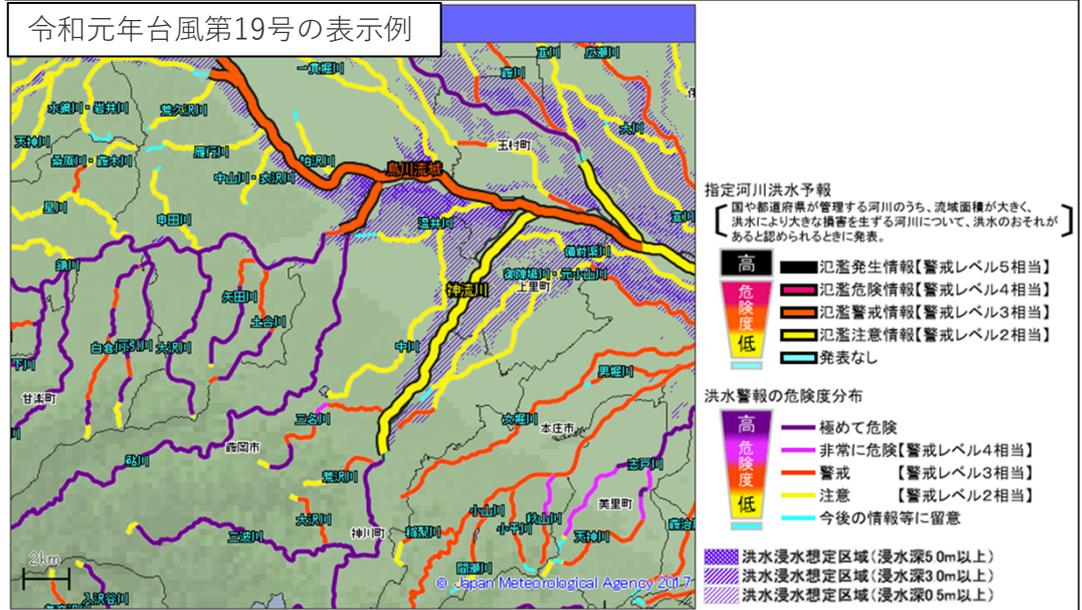
台風の子報(24時間)先までの12時間刻みの予報を3時間ごとに発表し、さらに5日(120時間)先までの24時間刻みの予報を6時間ごとに発表しています。

★16 「洪水警報の危険度分布（キキクル）」について

国や都道府県の管理する大きな河川に加えて、それ以外の中小河川の水害発生の危険度の高まりを予測し、洪水警報を補足する情報として公開しています。河川ごとの危険度の高まりを地図上で確認することができます。

(参照URL <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>)

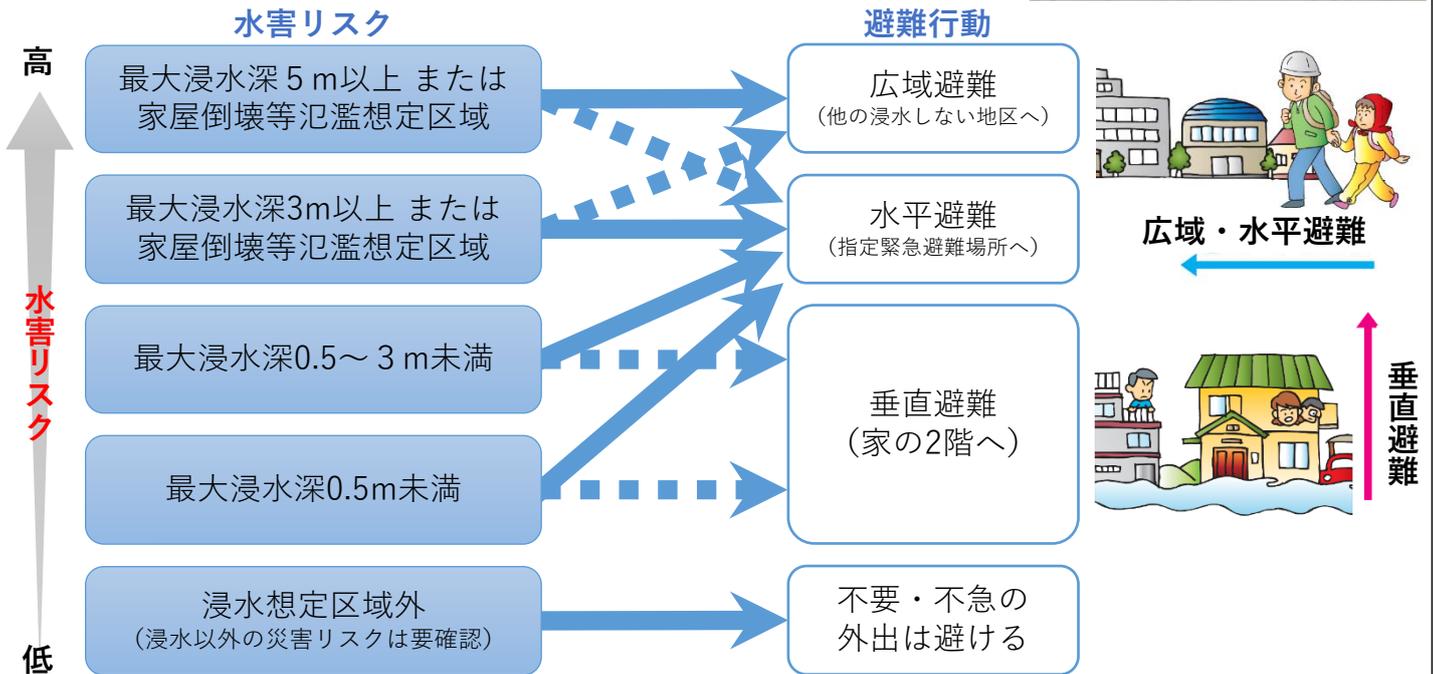
※上記URLのサイトは、2021年3月にリニューアルされているもので、レイアウト・凡例等が以下の表示と異なる場合があります。



洪水警報の危険度分布は、3時間先までの予測値を用いています。

★17 リスクに応じた避難方法について

洪水に対する避難には、「広域避難」、「水平避難（立退き避難）」、「垂直避難」などの種類があります。洪水浸水想定区域図や洪水ハザードマップ等で「今いるところ」や「よくいるところ」の**水害リスク**を把握し、リスクに応じた**避難行動**を心がけましょう。



※上記は、2階建て家屋にお住まいの方向けの避難行動選択に関する参考情報です。

人それぞれに事情が異なることから、人それぞれの避難行動を考えておく必要があります。

★18 「水防災意識社会再構築ビジョン」とは？

「水防災」とは、**河川の氾濫などによる水害の被害を防ぐ**取組です。平成27年9月関東・東北豪雨災害では、鬼怒川において越水や堤防決壊等により浸水戸数は約1万棟、孤立救助者数は約4千人となる等、甚大な被害が発生しました。「**施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの**」へと**意識を変革**し、社会全体で洪水に備える必要があるとし、国は「**水防災意識社会再構築ビジョン**」を策定しました。その後も平成28年8月の台風10号等の一連の台風による北海道・東北地方の中小河川等での氾濫発生を受け、「**水防法等の一部を改正する法律**」が平成29年6月19日に施行されるとともに、「水防災意識社会」の実現に向けた**緊急行動計画**を平成29年6月20日に国土交通省としてとりまとめました。

また、平成30年7月豪雨では、広域的かつ同時多発的に河川の氾濫や土石流等が発生し、200名を超える死者・行方不明者と3万棟近い家屋被害に加え、ライフラインや交通インフラ等の被災によって、甚大な社会経済被害が発生したことから、平成31年1月29日に「水防災意識社会」の再構築に向けた**緊急行動計画を改定**し、「水防災意識社会」の**取組をより一層、充実・加速化**させ、一刻も早い再構築をめざしています。

(参照URL <https://www.mlit.go.jp/river/mizubousaivision/index.html>)



【烏・神流川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会の取組】

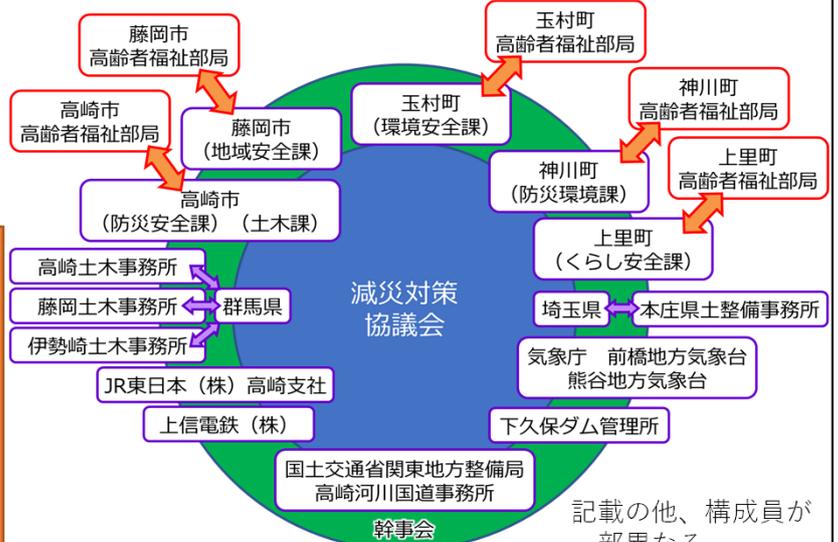
水防災意識社会再構築ビジョンに基づき、流域自治体・関係諸機関からなる**協議会を設立**し、烏川・神流川流域で発生し得る大規模水害の**被害を最小化**するため、施設の改良に加え、情報伝達体制の強化や、防災教育の普及啓発など**様々な取組**を行っています。

協議会の2大目標

- 『逃げ遅れゼロ』
- 『社会経済被害の最小化』

目標達成に向けた取組の3本柱

- (1)円滑かつ迅速な避難行動のための取組
- (2)洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組
- (3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とする排水活動及び施設運用強化の取組



(参照URL https://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/takasaki_index055.html)



協議会や取組の詳細についてはこちらから



堤防法尻の補強対策
堤防決壊を少しでも遅らせるための取組

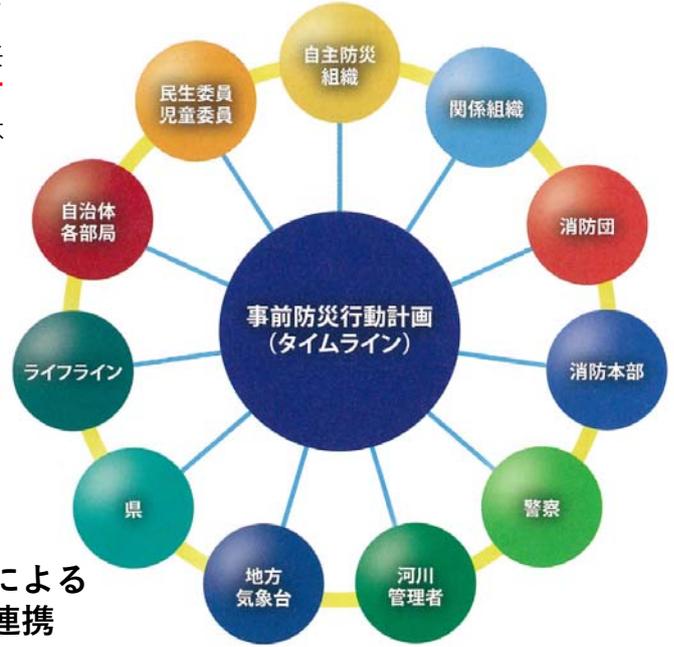


水防災に関する説明会の開催
マイ・タイムライン作成を推進するための取り組み

★19 「タイムライン」「マイ・タイムライン」とは？ (1)

「**タイムライン (防災行動計画)**」とは災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況をあらかじめ想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何を**するか**」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画です。

(※参照URL)国土交通省ホームページより
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/timeline/>



タイムラインによる
防災機関の連携

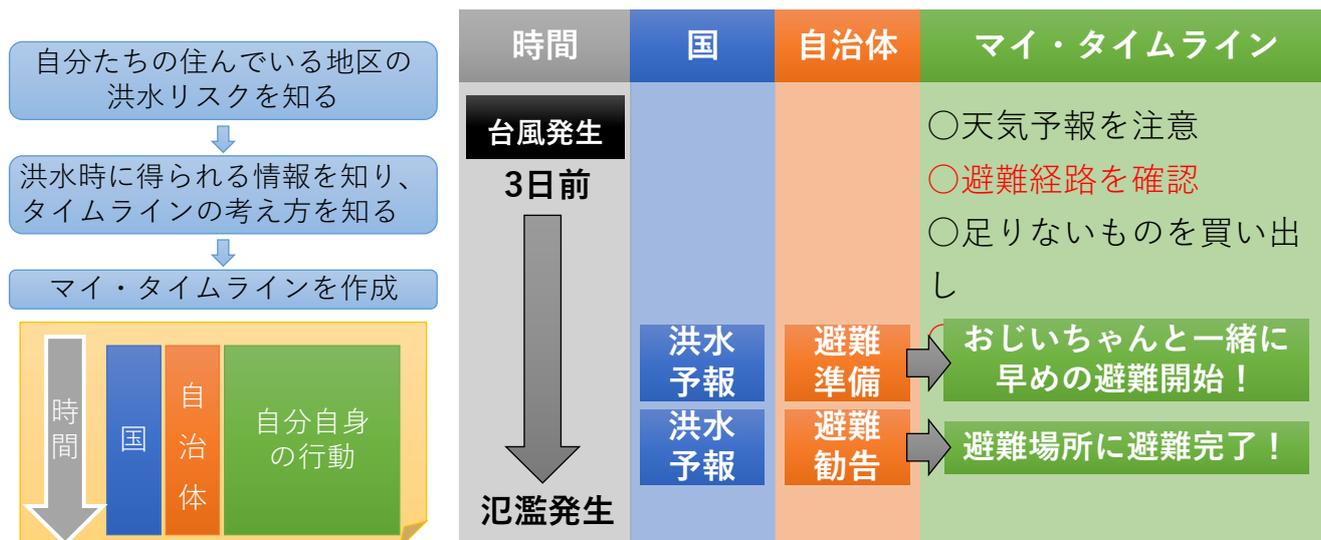
タイムラインのイメージ

	国土交通省	交通サービス	市町村	住民
時間				
-120hr	○台風予報			
-96hr			point 広域避難の可能性を早めに周知	
-72hr	○台風に関する記者会見	point 運行停止の可能性を早めに周知	○広域避難の体制確認・調整 ○避難方針の発表	
-48hr	○台風に関する記者会見	○交通サービス運行停止予告		point 早期に広域避難を開始
-36hr			○避難所の開設	○広域避難開始
-24hr	○台風に関する記者会見 (特別警報発表の可能性) ○大雨警報・洪水警報	○施設浸水防止対策	○広域避難者の誘導・受入 ○リエゾン・TEC-FORCEの受入 ○水防団の待機 ○避難所の運営 ○河川・海岸・道路の巡視	○要配慮者避難開始
-18hr	○土砂災害警戒情報 ○はん濫警戒情報 (はん濫警戒水位)	point 事前の協定に基づき、緊急避難路・運行停止	○避難遅延者の対応準備 指示・勧告の発表 要援者の対応	○避難開始
-12hr	○大雨・暴風・高潮・波浪特別警報	○排水開始 ○運行停止手順の開始	○水防活動の実施	○広域避難完了
-9hr		○運行停止 ○施設保全・避難終了		point 台風上陸前に避難を完了
-6hr	○はん濫危険情報 (はん濫危険水位)		消防・消防団 (水防団) 等要援者の危険箇所からの退避	○継続的な危険回避行動
-3hr	大規模水災害発生	point 浸水後早期復旧が可能なように運行停止	○被災状況の把握・施設点検	
0hr	○はん濫発生情報 (はん濫水の予測)	point 救助・物資輸送の早期展開	point 迅速な災害対応支援の実施	
+3hr		○被害状況の把握・施設点検 ○運行見通しの公表		
+12hr	○情報の継続/解除	○排水一部終了 ○運行一部再開 ○運行見通しの公表 ○排水全体終了 ○運行全体再開 ○運行状況の公表	○水防活動一部終了 ○避難指示・勧告の継続/一部解除 ○水防活動全体終了	○避難継続/帰宅 ○避難終了
+72hr				

★19 「タイムライン」「マイ・タイムライン」とは？ (2)

「マイ・タイムライン」とは一人ひとりのタイムラインであり、台風接近によって河川水位が上昇する時に自分自身がとるべき防災行動を時系列に整理したものです。自分の環境（住まい、家族構成など）を踏まえて、避難に必要な情報・判断・行動を整理した「自分の逃げ方」（マイ・タイムライン）を手に入れることで、もしものときに備えましょう。

(※参照URL) 国土交通省ホームページより
 (https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syo
 zaiti/mytimeline/index.html)



メモ欄

～烏・神流川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会～

高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、
(独)水資源機構下久保ダム管理所、気象庁前橋地方気象台、
気象庁熊谷地方気象台、東日本旅客鉄道株式会社高崎支社、
上信電鉄株式会社、国土交通省関東地方整備局

協議会HP	https://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/takasaki_index055.html	
事務局・お問合せ先	国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所 河川管理課 TEL027-345-6041	

この資料の内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

発行：令和3年5月20日

水防災意識社会の再構築を目指して

烏・神流川流域大規模氾濫に関する
減災対策協議会